

「道の駅周辺整備基本計画（案）」に対する

市民意見募集結果

令和2年2月10日（月）から3月3日（火）までの間、「道の駅周辺整備基本計画（案）」に対する市民の皆さんからの意見募集を行った結果、寄せられたご意見は以下のとおりでした。
なお、ご意見の内容（要旨）と市の回答は別紙のとおりです。

《提出件数》

2人 6件

《要旨別分類》

- | | |
|----------------------|----|
| 1. はじめに | |
| (1) 「道の駅周辺整備」の概要 | 5件 |
| 2. 「道の駅周辺整備基本構想」 | 0件 |
| 3. 区域区分図（案）・機能配置図（案） | 1件 |
| 4. 導入施設の概要（案） | 0件 |
| 5. 基本計画平面図（案） | 0件 |
| 6. 事業スケジュール（予定） | 0件 |

「道の駅周辺整備基本計画」原案に対する意見の要旨と市の回答

《1. はじめに (1)「道の駅周辺整備」の概要》

No.	意見	考え方
①	観光ごっこに税金を浪費することは許されない。何をそんなに交流したり、触れ合いたいのか。	道の駅周辺地域については、第2次愛西市総合計画において観光拠点に位置づけられております。市内最大の集客力がある既存施設「道の駅」と既存資源「花はす田」等を活かし、地域振興の推進を図るために必要な事業と考えております。
②	道の駅の拡張は、犯罪を呼び込むことに繋がる。西尾張地区には公共のトイレや休憩施設が不足しており、「立田ふれあいの里」が必要とされていることは認める。しかし、今の設備以上に拡張する必要はない。トイレ・休憩施設・駐車場の3つを維持できる程度の収益を上げていくことだけを考えればいい。設備としては現状でも過剰である。	「道の駅」は、地方創生・観光を加速する拠点へと全国的にも取り組みが行われております。本市の道の駅についても、非常にポテンシャルの高い道の駅として捉えており、市としましては、道の駅とその周辺を一体的な観光拠点として整備することにより、観光サービスの強化及び地域振興の活性化を図ろうとするものであります。 新たに拡張する範囲は、既存の花はす田を活かした「公園」として都市計画決定し、拡張を図るものであり、利用者に安心・安全に各施設を使用して頂けるように対策を検討して参ります。
③	道の駅には、設置主体が想定していなかった人々がやってくる。「車中生活者」のケアにかかるコストは、愛西市の税金で賄うというのか。	道の駅機能の1つに「休憩機能」があり、道路利用者が無料で24時間利用できる駐車場・トイレの提供になります。高速道路と同様に、快適なドライブを支えるために必要な機能になります。既存施設のリニューアルにより、引き続き道路利用者の方への快適なサービスの提供に努めて参ります。
④	蓮見の会は、夏のわずか2日間、午前中だけの開催である。そこに巨額の整備費をつぎ込みたい動機は何か。そして、既に貧しい愛西市のどこに税金をハコモノで浪費する余裕があるのか。	東ゾーン（花はすエリア）の整備コンセプトは、「特産農産物の魅力発信施設」を目玉とした観光拠点の整備になります。四季を通して賑わいが生まれるように、本市の新鮮な農作物を使用した飲食施設、特産品である花はす田・花しょうぶ園・特産物であるレンコン等の収穫体験により、公園利用者に本市の魅力を発信し、市内への観光・誘客を図ることを目的とした施策であります。本事業においては、市の財政負担を鑑み、国の交付金等を有効に活用し進めて参ります。
⑤	道の駅の運営もオープンな入札にかけるべきだ。	本事業の管理運営手法としては、各ゾーンの整備コンセプトを実現するために、民間事業者の創意工夫やノウハウの導入を検討しております。 今後は、事業進捗に併せて管理運営体制及び運営事業者の選定方法を検討して参ります。

《3. 区域区分図（案）・機能配置図（案）》

No.	意見	考え方
⑥	<p>立田地区においても現役世代が地元を離れていき、高齢者の割合が増えてきている。</p> <p>高齢者が老後の生活を元気に保つためのコミュニティの場として、楽しく過ごせる娯楽施設を作ってほしい。</p> <p>また、木曾三川方面からの帰り道、利用しやすさを考え、道の駅の北側の田んぼの土地を利用していただいて検討してほしい。</p>	<p>東ゾーン（花はすエリア）での導入施設として、様々な用途に活用できる多目的室の整備を検討しております。</p> <p>なお、道の駅周辺に拡張する都市公園区域については、道の駅区域との一体的な利用、また既存資源である花はす田を活用できる範囲で設定しております。計画検討区域を変更する予定はございません。</p>